

電力・ガス取引監視等委員会からの調査報告を受けて

本日、電力・ガス取引監視等委員会から、九州電力株式会社（以下「同社」という）に対する業務改善指導を行ったことが発表されましたが、これでは十分ではないと考えています。

そもそもこの件は、本年2月19日に、市内の団体の長から、同社延岡営業所長が要請してもいないのに2月16日に容量拠出金の説明に来たこと、及び、他の団体の役員にも説明して回っていること、についての連絡を受けたことで明らかになったものです。

さらに、本市が設立予定の新電力会社の容量拠出金の金額が試算できるはずがないにもかかわらず、根拠のない数字を同社が自ら進んで市内の諸団体の役員に説明して回っていることが明らかになったことから、私が2月19日及び22日に同社延岡営業所長及び宮崎支社長に対し「なぜ根拠のない数字を自ら進んで説明して回っているのか。」と聞いたところ、両氏とも「岡山電力株式会社のデータを用いて試算したので根拠のある数字です。」と答えましたが、2月23日に岡山電力株式会社に確認したところ、岡山電力株式会社はそのようなデータ使用を許可していないことが判明したため、同社が九州電力送配電株式会社から岡山電力株式会社のデータを許可なく入手・使用したことが明らかになったものです。

このように、同社が要請もないのに根拠のない数字を自ら進んで本市内の関係団体に説明して回ったこと、及び、同社が岡山電力株式会社のデータを無断で使用したことについては、私が自ら聴取したところですが、今回の電力・ガス取引監視等委員会の調査ではその実態が明らかにされておらず、極めて遺憾であります。

今後、同委員会に対し、更なる調査を求めていく所存です。

令和3年3月29日

延岡市長 読谷山 洋司